



位置図

S=1:100,000



玉山村

岩泉町

田老
田老総合事務所

盛岡市

新里総合事務所

宮古市役所

川井

川井総合事務所

宮古市

令和8年度
鍋流橋補修工事
市道 大仁田新田線
遠野市

大槌町

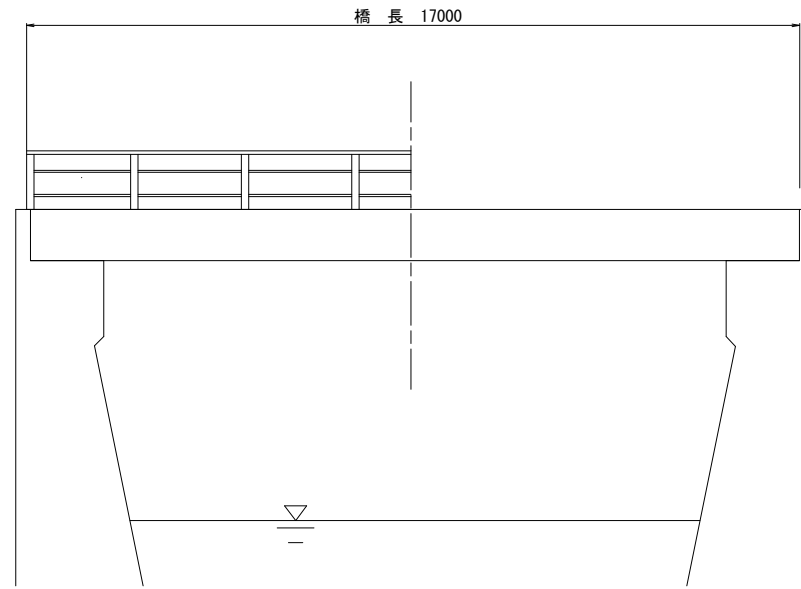
山田町

山田町

鍋流橋 現況一般図

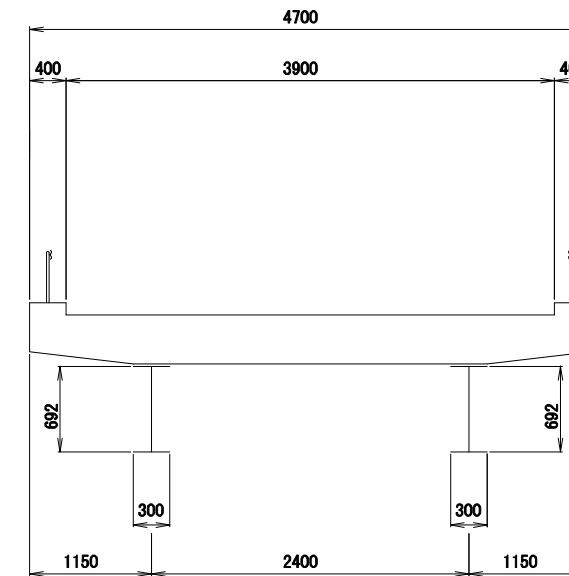
側面図

S=1:50



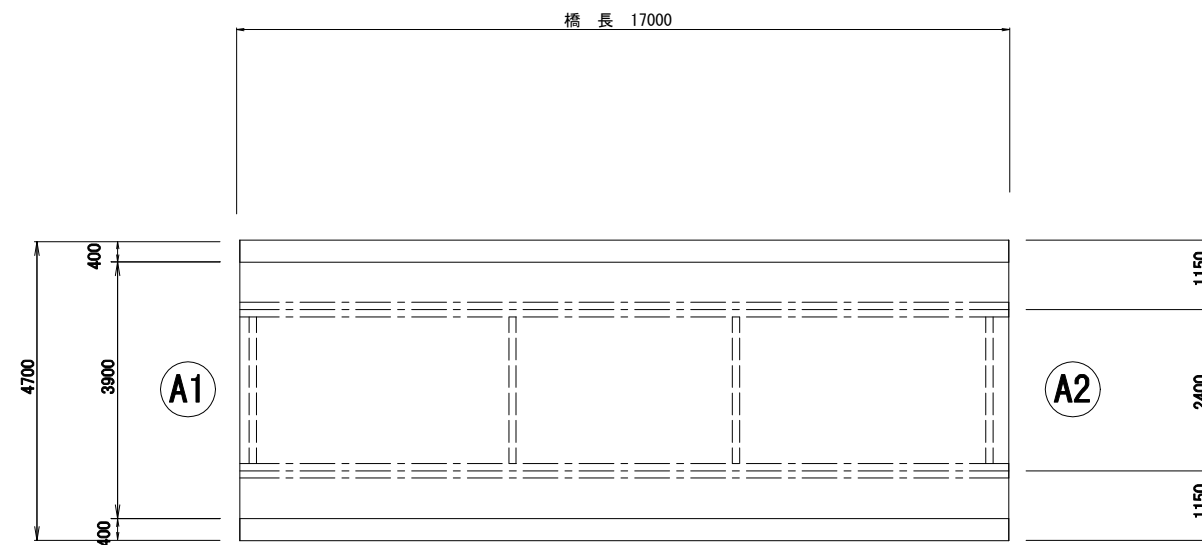
断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



準用河川 小国川

橋梁諸元

| | |
|-------|-----------------------|
| 橋名 | 鍋流橋 (なべながればし) |
| 路線名 | 市道 大仁田新田線 |
| 位置 | 岩手県宮古市小国第7地割 地内 |
| 橋長 | L=17.0m |
| 斜角 | 不明 |
| 全幅員 | W=4.700m |
| 有効幅員 | W=3.900m |
| 横断勾配 | ↙ 0.5% 0.5% ↘ |
| 舗装 | コンクリート舗装 |
| 上部工形式 | 鋼桁橋 |
| 下部工形式 | 重力式橋台 |
| 基礎工形式 | 不明 |
| 竣工年月 | 昭和42年(1969年) ※57年経過 |
| 適用基準 | 昭和31年 鋼道路橋設計示方書 |
| 設計荷重 | 14.0 t |
| 交差物件 | 準用河川 小国川 (河川管理者: 宮古市) |

(特記事項)

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、調査把握の上、最終決定すること。

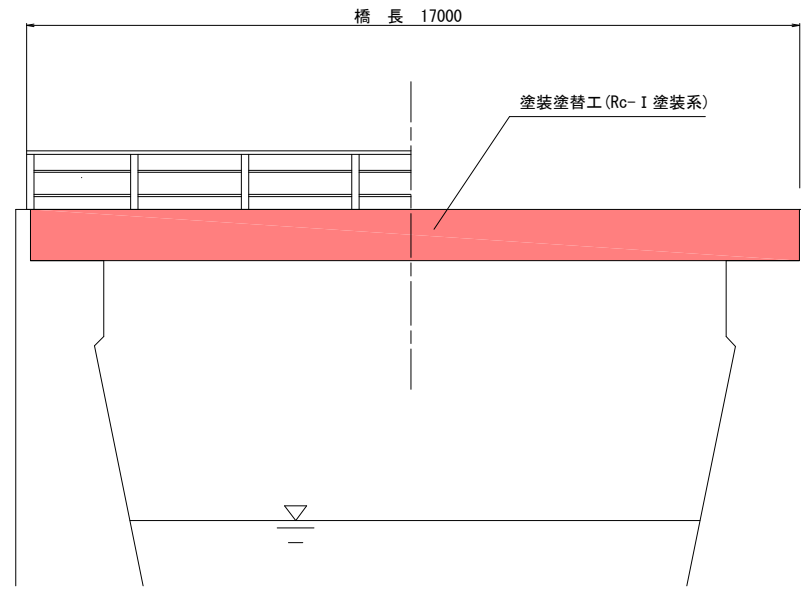
宮古市都市整備部建設課

| | |
|----------------|--------------|
| 市道 大仁田新田線 | 宮古市小国第7地割 地内 |
| 全 4 枚ノ中 其 1 | 現況一般図 |
| 令和 8 年度 | |
| 鍋流橋補修工事 | |
| 縮尺 | 図示 |

鍋流橋 補修一般図

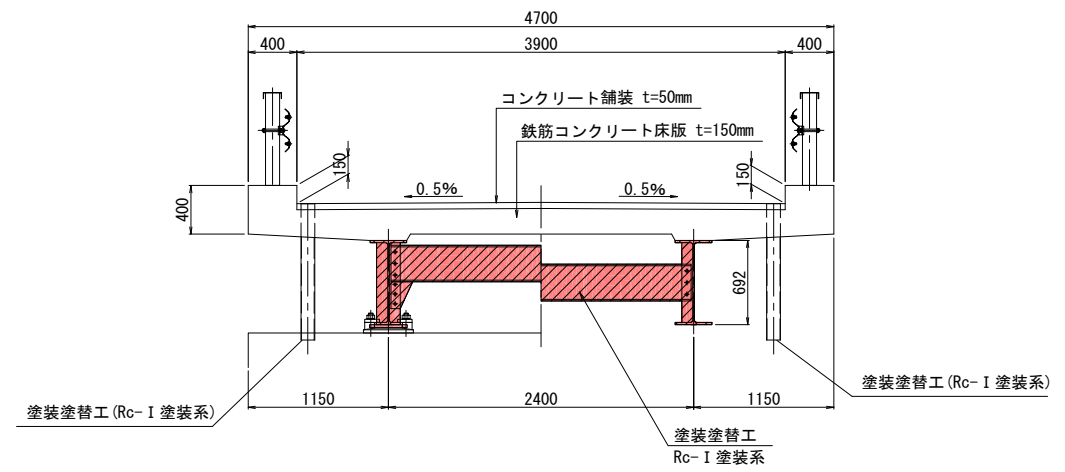
側面図

S=1:50



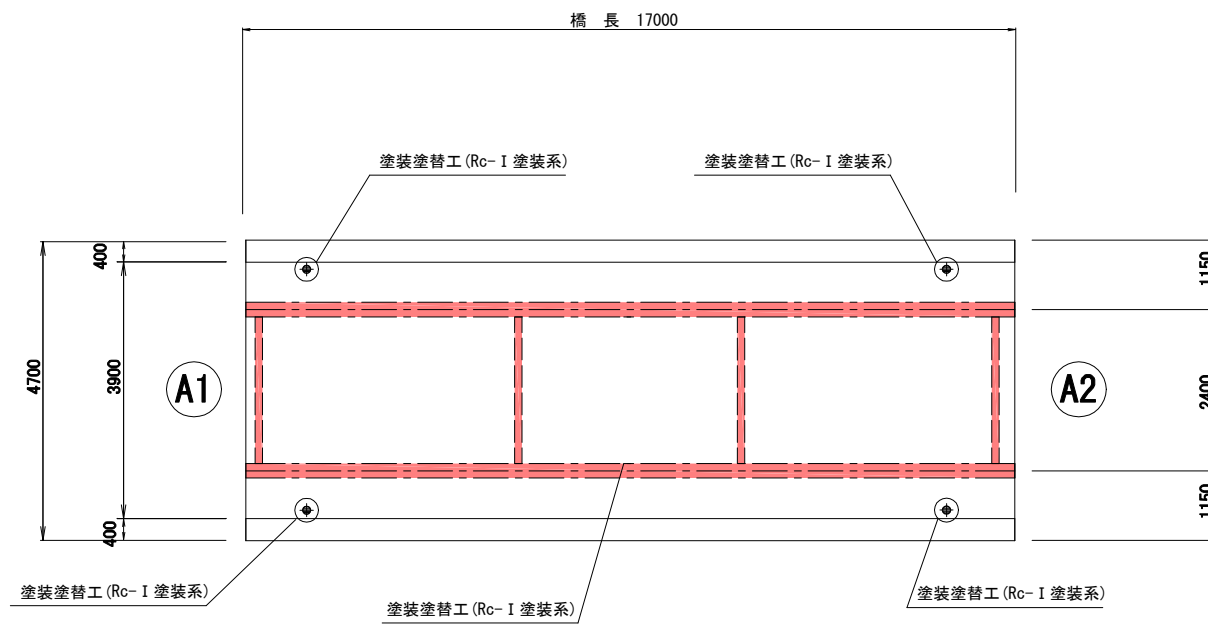
断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



準用河川 小国川

補修項目一覧表

| | 部 位 | 工 種 |
|-----|-----|------------------|
| 上部工 | 主桁 | 塗装塗替工 (Rc-I 塗装系) |
| | 横桁 | 塗装塗替工 (Rc-I 塗装系) |
| その他 | 排水管 | 塗装塗替工 (Rc-I 塗装系) |

橋梁諸元

| | |
|-------|-------------------------|
| 橋 名 | 鍋流橋 (なべながればし) |
| 路 線 名 | 市道 大仁田新田線 |
| 位 置 | 岩手県宮古市小国第7地割 地内 |
| 橋 長 | L=17.0m |
| 斜 角 | 不明 |
| 全 幅 員 | W=4.700m |
| 有効幅員 | W=3.900m |
| 横断勾配 | 0.5% 0.5% |
| 舗 装 | コンクリート舗装 |
| 上部工形式 | 鋼H桁橋 |
| 下部工形式 | 重力式橋台 |
| 基礎工形式 | 不明 |
| 竣工年月 | 昭和42年12月 (1969年) ※57年経過 |
| 適用基準 | 昭和31年 鋼道路橋設計示方書 |
| 設計荷重 | 14.0 t |
| 交差物件 | 準用河川 小国川 (河川管理者: 宮古市) |

(特記事項)

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連寸法は、調査把握の上、最終決定すること。

宮古市都市整備部建設課

市道 大仁田新田線 宮古市小国第7地割 地内

全 4 枚ノ中
其 2 補修一般図

令和 8 年度

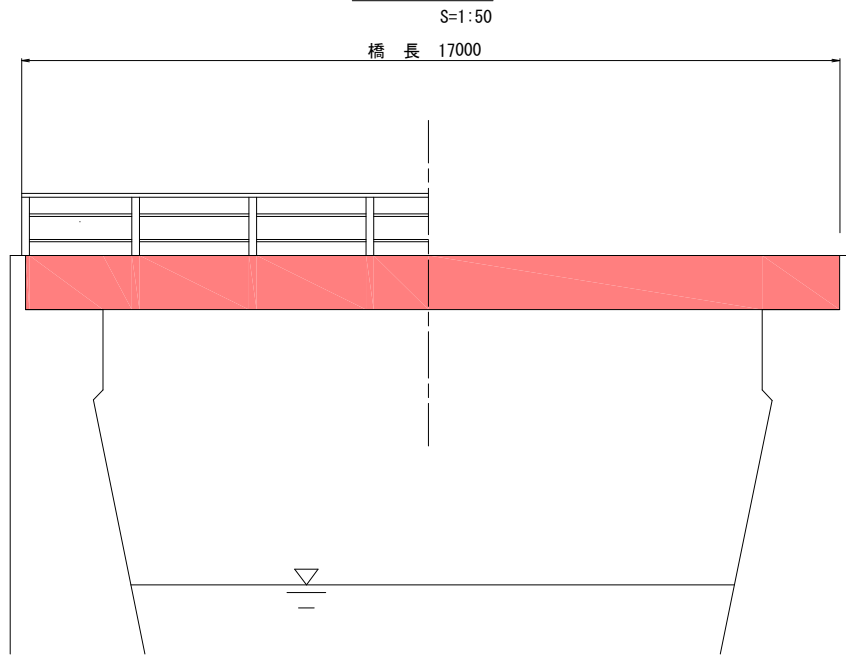
鍋流橋補修工事

縮 尺 図 示

鍋流橋 鋼部材再塗装工図 (その1)

〈主桁・横桁・排水管〉

側面図



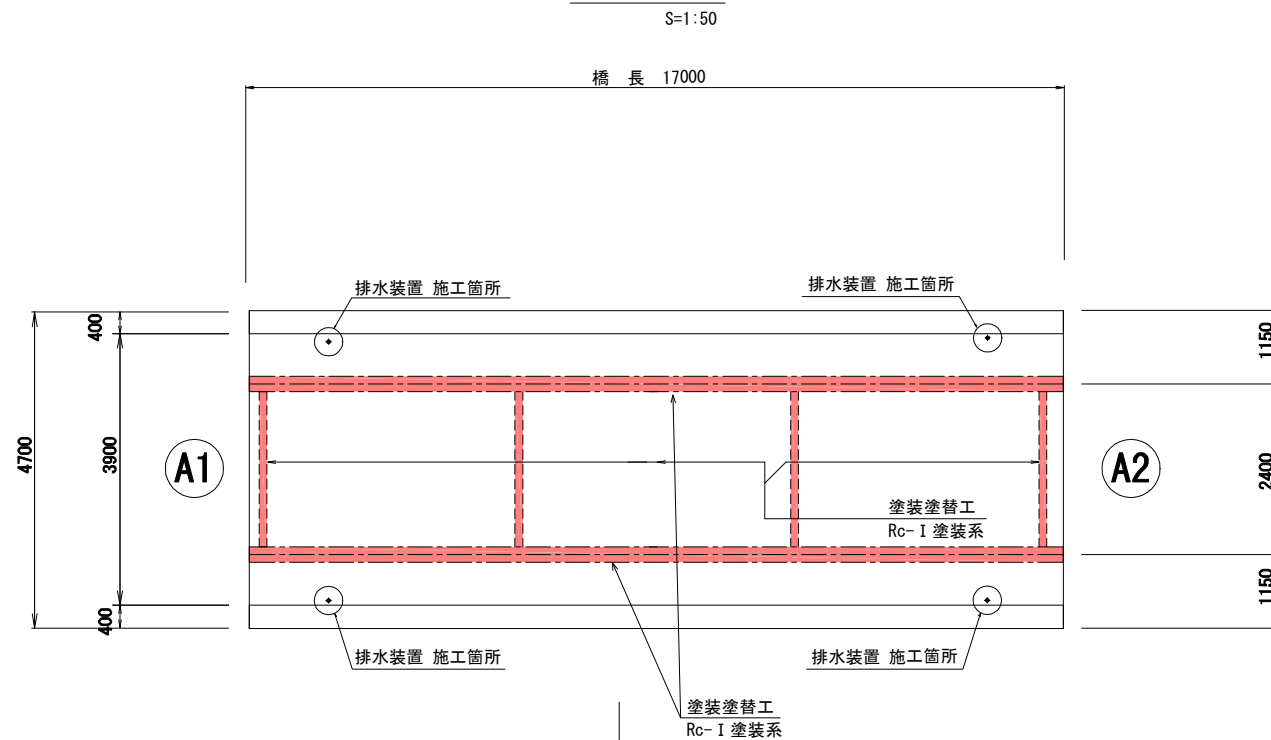
〈塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)〉

主桁 (N=2)
1-UFLG PL 300×20×17000
1-WEB PL 652×13×17000
1-LFLG PL 300×20×17000

端横桁 (N=2)
1-CH 300×90×9×13×2400
2-GUSS PL 210×9×150

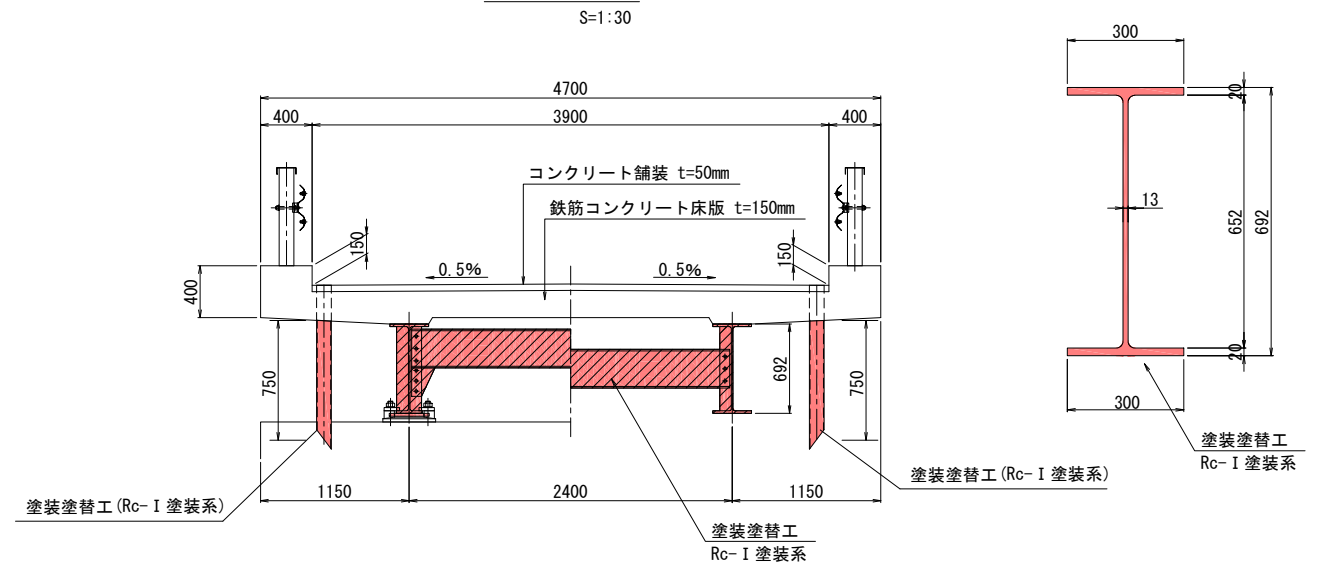
中間横桁 (N=2)
1-CH 300×90×9×13×2400

平面図



準用河川 小国川

断面図

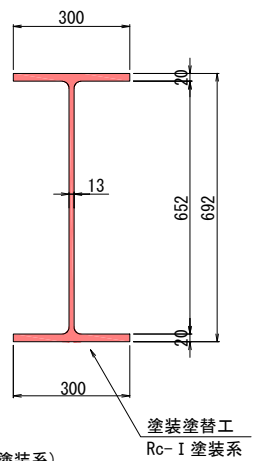


〈塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)〉

排水装置 (N=4)
1-PIPE φ114.3×4.5×750

主桁詳細

S=1:10



Rc-I 塗装系 (スプレー)

循環式プラスト工法相当以上

(循環式プラスト工法 NETIS登録番号:KT-230028-A 建審証第2201号)

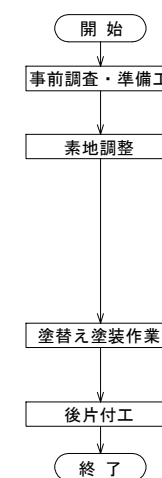
| 塗装工程 | 塗料名 | 使用量 (g/m ²) | 標準膜厚 (μm) | 塗装間隔 |
|------|------------------|-------------------------|-----------|--------|
| 素地調整 | 1種 | | | 4時間以内 |
| 防食下地 | 有機ジンクリッチペイント | 600 | 75 | 1日~10日 |
| 下塗 | 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 | 240 | 60 | 1日~10日 |
| 下塗 | 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 | 240 | 60 | 1日~10日 |
| 中塗 | 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗 | 170 | 30 | 1日~10日 |
| 上塗 | 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 | 140 | 25 | 1日~10日 |

※1:原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。

※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

※3:プラスト処理による除せい度ISO Sa 2 1/2とする。

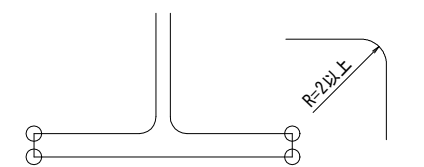
施工手順



(特記事項)

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、調査把握の上、最終決定すること。
3. 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

エッジ部曲面仕上げ



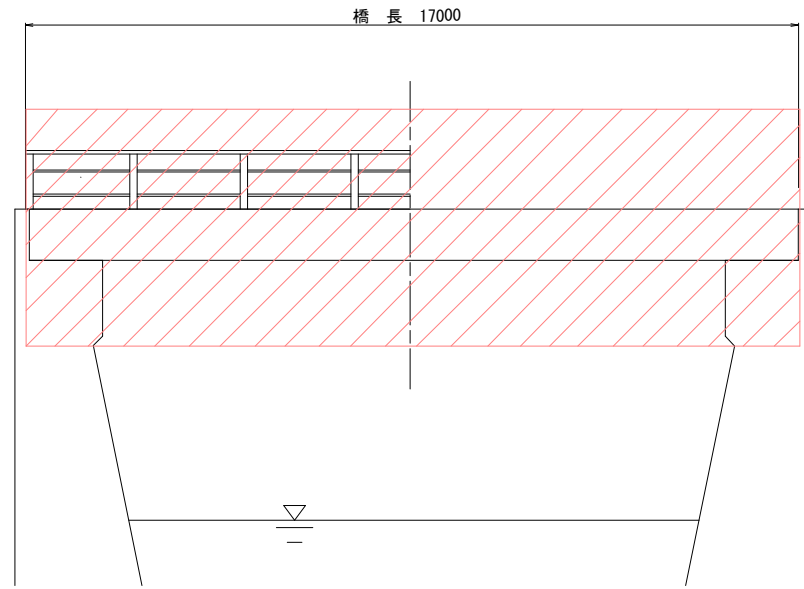
※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため2R以上の面取りを行い、曲面仕上げとすること。

| 宮古市都市整備部建設課 | |
|----------------|-------------------|
| 市道 大仁田新田線 | 宮古市小国第7地割 地内 |
| 全 4 枚ノ中 其 3 | 鋼部材再塗装工図 (その1) |
| 令和 8 年度 | |
| 鍋流橋補修工事 | |
| 縮尺 | 図示 |

鍋流橋 仮設計画図 (案)

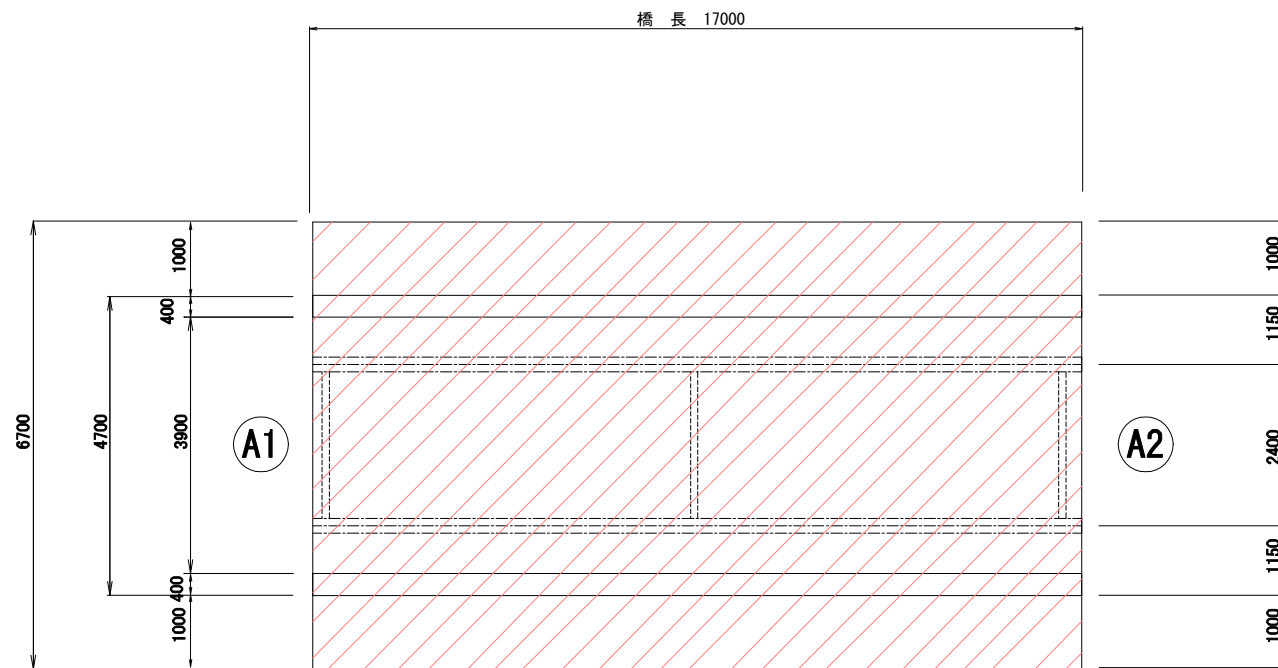
側面図

S=1:50



平面図

S=1:50

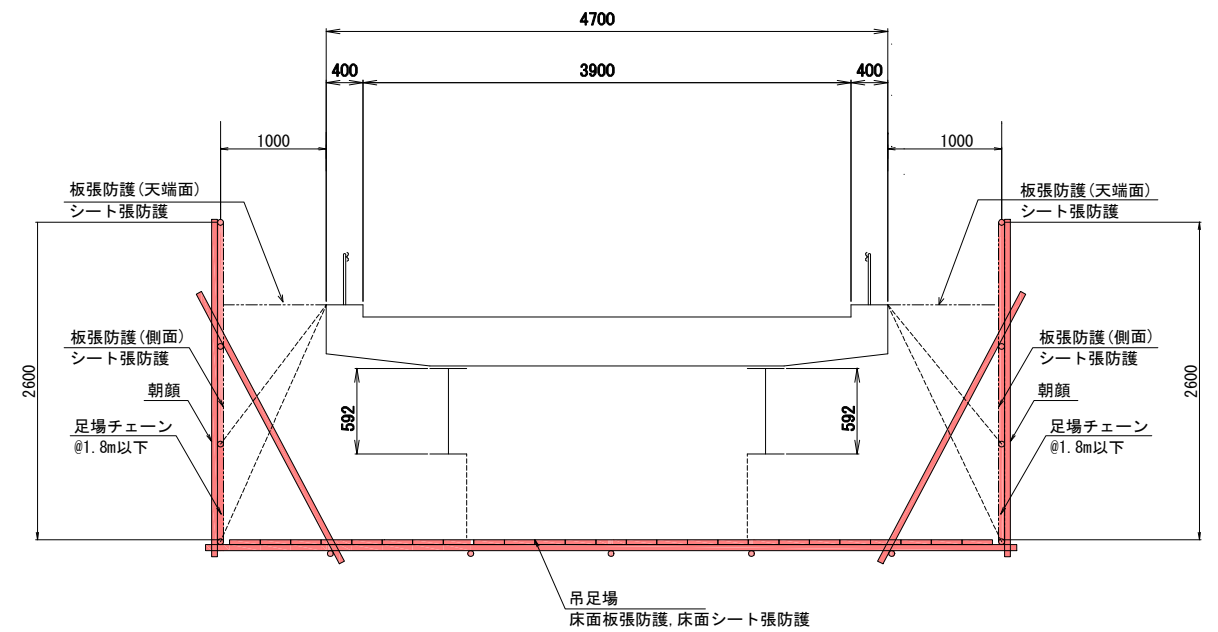


準用河川 小国川

足場架設範囲

断面図

S=1:30



※ラスト施工時はラスト養生シートを設置する。

施工フロー



| | |
|----------------|--------------|
| 宮古市都市整備部建設課 | |
| 市道 大仁田新田線 | 宮古市小国第7地割 地内 |
| 全 4 枚ノ中 其 4 | 仮設計画図 (案) |
| 令和 8 年度 | |
| 鍋流橋補修工事 | |
| 縮尺 | 図示 |